



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 一般内科 有岡 宏子

【研究責任者】

聖路加国際病院 一般内科 有岡 宏子

入院中のせん妄（何らかの理由で一時的に意識障害や認知機能の低下などが生じる精神状態）発症と社会経済的地位との関連性について

1.研究の対象

2014年3月から2022年4月までの間に聖路加国際病院に入院された65歳以上の方が対象になります。

2.研究の目的・方法

せん妄は、意識のレベルが変動する急性の病気で、注意力の低下、混乱、幻覚、妄想、睡眠サイクルの乱れを特徴とします。

せん妄は高齢、重症の併存疾患、感染症、日常生活動作の低下、認知症、視覚障害、栄養状態の低下などの生物学的な要因がせん妄の発症に寄与することは分かっていますが、社会経済的な要因も影響を与えることが海外の研究で報告されています。

今回の研究では、日本の病院において入院中の患者さんの社会経済的地位（居住地域の貧困率、収入、職業など）がせん妄の発症にどのように影響するかを比較検討します。

今回の研究では、入院時の問診で取得できる社会的決定因子および入院時の各種検査結果を参照に、入院後のせん妄との関連性を検討することが目的です。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

患者背景の基本的な情報（年齢、性別、身長、体重など）、入院時データ（問診票、血液検査のデータ、身体拘束の有無、人工呼吸器の使用や手術の内容、初診時記録<リテラシー、学歴、職業 等>）、カルテ番号、薬の服薬状況、既往歴、国際疾病分類第10版コード、退院時の状況、郵便番号、保険区分 等

4.外部への試料・情報の提供

今回の研究は、共同研究機関である東京医科歯科大学 国際健康推進医学でデータの解析を行います。パスワードのついた記録媒体を用いて個人を特定されないよう処理されたデータを東京医科歯科大学 国際健康推進医学に提供し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

研究代表者研究者連絡先： 東京医科歯科大学 国際健康推進医学 准教授 那波伸敏
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 03-5803-5190

（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）